

下関市立図書館基本計画【概要版】

平成 20 年の「図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）」の改正により、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成 24 年文部科学省告示第 172 号）」が施行されました。

この中で、図書館運営を健全に発達させ、住民に対して適切な図書館サービスを行うことができるよう努めることが自治体と図書館に課せられたのです。

この「下関市立図書館基本計画」（以下「本計画」という。）では、図書館としての基本的役割を押さえつつ、成長する図書館の未来像を明らかにし、市民サービスの向上を図るための基本方針を定めることを目的とします。

基本理念

ゆめ 夢をはぐくむ ち たね 知の種を み な 市民であたため みらい 未来につなぐ

基本方針

市民の探究心に
こたえる図書館

情報拠点として市民の
学びを支援する図書館

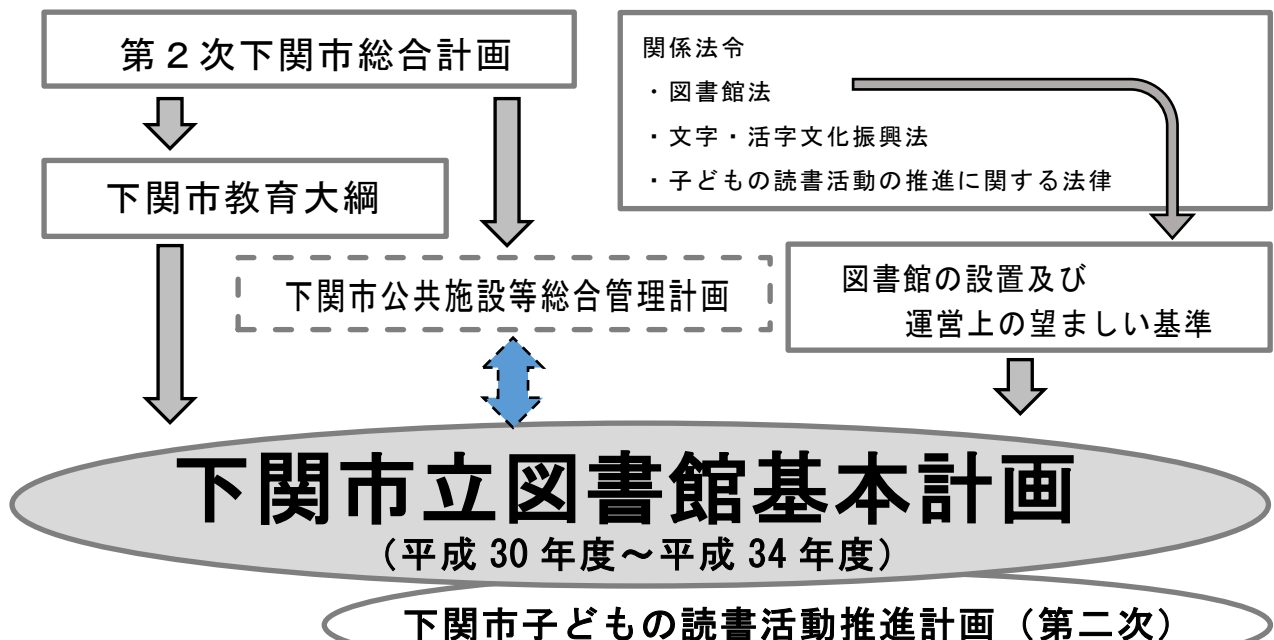
子どもたちを
はぐくむ図書館

次世代を担う子どもたちの
成長を支援する図書館

地域とともに
成長する図書館

地域文化をはぐくみ、豊かな
まちづくりを支援する図書館

基本計画の位置付けと実施期間



下関市立図書館の現状

下関市には、中央図書館と5つの地域図書館（彦島図書館、長府図書館、菊川図書館、豊田図書館、豊浦図書館。以下「地域館」という。）と、豊北中学校内図書室（以下、「豊北図書室」という。）があります。中央図書館には、移動図書館を配置しており、下関市内26箇所を巡回しています。

下関市立図書館の課題

資料の収集・保存	<ul style="list-style-type: none">・郷土資料の確実な収集・保存・適正な蔵書バランスの維持・資料収集に関する市民ニーズの把握
図書館サービスの提供	<ul style="list-style-type: none">・図書館来館が困難な方や、情報収集の支援を要する方へのサービス・図書館未利用者に対する利用促進・資料紹介と情報発信のための活発な展示活動・電子データの活用とその利用環境の拡充・<u>レファレンスサービス</u> ※1 の利用促進・魅力的で活発な児童サービスの提供・地域課題解決における図書館の支援方法の検討
図書館運営への 市民との協働	<ul style="list-style-type: none">・市民の図書館運営に関する意見収集・市民や民間団体との協働方法の検討
運営体制	<ul style="list-style-type: none">・職員の育成・研修・危機管理体制の構築・職員の配置・下関市関係各課との連携・協力
施設管理及び整備	<ul style="list-style-type: none">・老朽化による施設改修への対応・下関市全体への図書館サービス浸透・行政の枠組みを越えた組織的協力

施策の方向性 ～基本計画と基本方針の実現に向けて～

市民の探究心にこたえる図書館

～情報拠点として市民の学びを支援する図書館

① 市民目線の資料の収集・保存・提供

予約・リクエストサービスの利用方法の普及に努め、資料収集に関する意見を積極的に受付けます。それぞれの図書館の予約・リクエストの傾向を捉え、選書に生かすことで、地域ごとの特色がある図書館に成長します。

② 暮らしの「困った」を解決するための機能の強化

暮らしの中のどんなことでも気軽に相談できる体制を整えます。また、従来のレファレンスサービスに加え、下関市に関する事例や問い合わせの多い事例についての情報発信に努めます。

③ 図書館の魅力の情報発信 ～「そうだ！図書館にいこう！」

高齢者や障害のある方をはじめ、誰もがためらいなく、図書館を利用できる、読書環境づくりに努めます。各図書館の個性あるテーマに沿った資料展示やイベント企画や広報により、図書館を利用したことがない方にも図書館の魅力を発信していきます。

子どもたちをはぐくむ図書館

～次世代を担う子どもたちの成長を支援する図書館

① 親子で本を楽しむきっかけづくり

年齢に応じた資料提供を行うための蔵書構築に努め、就学前の乳幼児とその保護者が一緒に本に触れる機会となる事業に取り組みます。

② 学校等との連携による読書活動の推進

学校図書館からの協力要請に応じ、技術伝達や運営助言を行うことで、学校司書及び司書教諭の業務を支援します。また、学校等への団体貸出を継続して行い、幼児、児童、生徒の読書体験をサポートするとともに、授業を行う教職員の資料収集業務に協力します。学校司書や学校での読書推進に関わるボランティアに対し、研修会等の情報を発信します。

③ 子どもと本の出会いの橋渡し

子どもの読書活動に関わる地域住民や団体、教育機関等との情報交換を図り、児童サービスの向上に役立てます。市民と図書館職員が子どもの読書について共に学ぶ児童サービスに関する講座を開催します。また、発達段階に応じた本と関わるイベントを開催するとともに、下関市で行われるさまざまなイベントに参加し、子どもたちが本と出会う機会を積極的に作ります。

地域とともに成長する図書館

～地域文化をはぐくみ、豊かなまちづくりを支援する図書館

① 地域の「集い」と市民の「交わり」を支えるサービス提供

最新の行政資料を集め、地域の小さな問題でも気軽に相談できる体制を整えます。また、ボランティアや図書館職員が市民とともに学ぶ場や情報を提供し、地域の問題をみんなで考えることができる図書館をめざします。

② 地域の「歴史」とひとの「足跡」を明日につなげる図書館

郷土資料のデジタルアーカイブ^{※2}化を継続的かつ計画的に推進します。地域の歴史と文化の保存のため、中央図書館は下関全域を対象に、地域館はその地域に関して記載された資料を重点的に収集します。各種研究機関との情報交流に努め、レフェラルサービス^{※3}等のサービス発展につなげます。

③ 「個人」の熱意を「集団」のエネルギーに変える「動」の図書館

図書館サービスに関するアンケート等を実施し、市民の声を得て成長する図書館をめざします。読書活動推進団体の活動を広く紹介することで、同じ思いを持つ市民をつなぎ、読書活動の発展を推進します。また、下関市の他施設との業務連携や情報共有を進めるとともに、学生や企業、文庫等の団体との協働を推進し、多くの人材から生まれる柔軟な発想を新しい図書館サービスに活かします。

※1 「レファレンスサービス」とは、利用者からの質問に、図書館職員が図書館で得られる資料や情報を基に回答したり、資料提供を行うサービスのことで、資料探索方法や情報検索の方法などを支援することも含まれます。

※2 「デジタルアーカイブ」とは、文化財や貴重な資料等をデジタル情報として記録・提供するシステムのことで、資料の劣化による情報消滅への対応はもちろん、インターネットを介して閲覧できる等の利点があります。

※3 「レフェラルサービス」とは、利用者の質問に応じ、図書館にある資料や情報とは別に、必要な情報を持つ人物や研究機関・組織等を知らせるサービスのことで、

図書館の整備と運営

下関市の市域は広大であり、低密度に人口が分散する地域が多くなっています。その中で図書館には、市民の多様なニーズに十分にこたえ、どの地域においても同じ質のサービスを提供することが求められます。

また下関市では、公共施設の老朽化に伴う更新費用の確保が課題となっています。

このような状況の中で、図書館を健全な資産として次の世代に引き継ぎ、図書館サービスをより充実したものとしていくためには、図書館ネットワークを効果的・効率的に活用できる他施設との複合化を検討し、教育効果の向上と施設の有効利用を図る必要があります。

また、今後の図書館整備に当たっては、下関市公共施設等総合管理計画を踏まえた上で、施設総量の縮減や既存施設の計画的な改修による長寿命化等を視野に入れながらも、より機動的に、より質の高い図書館サービスを提供できる方法を模索していきます。

サービス指標と数値目標

本計画で目標として掲げるサービス指標については、6項目の指標をサービス指標として設定しています。

数値目標の達成状況は、年報等で公表するとともに、サービス・運営の改善に結び付け、より効果的かつ効率的に図書館運営ができるよう、年次計画及び次期基本計画に反映させます。

サービス指標	平成28年度実績	数値目標 (平成34年度)
人口当たり貸出数	4.85点	6.6点
職員当たり公式研修参加時間数	2.5時間	6時間
レファレンスサービス総件数	—	30,000件
ホームページ及びSNS※4への情報発信件数	—	100件
行事・イベントの参加者数	4,624人	5,000人
子どもの読書活動推進のための 行事の開催回数	288回	300回

●レファレンスサービス件数は、平成29年度から全館統一での記録を開始しました。

※4 「SNS」とは「ソーシャル ネットワーキング サービスSocial Networking Service」の略で、人同士が交流する会員制オンラインサービスのことで、Webサイトやスマートフォンアプリ等で利用できます。

下関市立図書館基本計画

策定／平成30年（2018年）3月

発行／下関市教育委員会

編集／下関市教育委員会 図書館政策課 山口県下関市細江町三丁目1-1 生涯学習プラザ5階